

令和五年
四月二十三日（日）

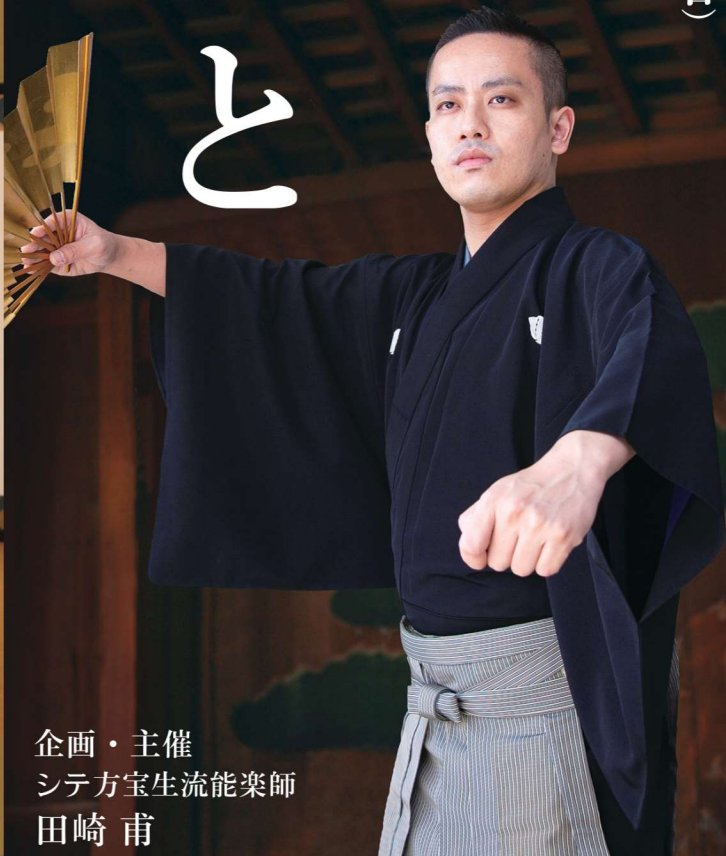
第七回

能と

茶と



呈茶共催
臥牛敷舞台当主・宝生流教授囑託
高橋千洋



企画・主催
シテ方宝生流能楽師
田崎 甫

凜とした能舞台上、謡/仕舞の迫力を間近で感じて頂きます
茶室にて謡から始まるお点前は、臥牛敷舞台ならではの味わいです

2023年

4/23（日）

要予約

第1部 呈茶 12:30～
小さな能 13:40 開演

第2部 呈茶 14:50～
小さな能 16:00 開演

呈茶席：臥牛敷舞台 茶室
席主 裏千家・鈴木宗久

会場：臥牛敷舞台^{がぎゆう しきぶたい}（富士宮市粟倉南町132）

座席数：各部 24名

料金：お一人様 5,000円（税込）



■「小さな能」とは

シテ1名・地謡1名の最少人数で、能の物語を軸に仕舞・謡・解説で番組を構成する、能の新しい楽しみ方です。

■演目

『采女』（うねめ）

『春日龍神』（かすがりゅうじん）

■出演/解説：シテ方宝生流職分、東京藝大卒

田崎 甫（東京藝術大学音楽学部教育研究助手）

葛野りさ（川村学園女子大学非常勤講師）

※ 感染予防策を施した会場で、完全予約制にて催します。

「能と茶と」お申込：090-2757-0620（たざき）

協力：小さな能を広める会

能のお稽古

宝生流能楽師 田崎甫がマンツーマンで教えます！（約30分／回）

優雅で洗練された所作が身に付く[仕舞]。

日本古典の美しい言葉をオウム返しで発声する[謡]。

日常と離れ、全身が凛とした雰囲気にもまれる舞台です。

お稽古日（原則、月曜夕方より月2回）

月謝：5千円／回、月2回

場所：臥牛敷舞台

お稽古問合せ：090-6176-8365（宝生流能楽師 田崎 甫）

又は 090-2757-0620（たぎきさちこ）

ぜひ見学／体験へ！

見学=無料、体験=子供無料・大人1千円

所作体験の基本は『構工』（体幹）、『運び』（摺り足）です。

見学・体験はお稽古日にお受けします

（お稽古は原則、月曜日夕方～、月2回）

服装は自由です。（白足袋をご用意下さい）

見学体験問合せ：臥牛敷舞台当主・宝生流教授囑託 高橋千洋

090-6352-1579（たかはし ちひろ）

がぎゅう しぎぶたい
会場：臥牛敷舞台（富士宮市粟倉南町132）

様々な分野のお稽古や発表会にご利用頂けます。

利用問合せ： 臥牛敷舞台

090-6352-1579

（たかはしちひろ）

GoogleMAP 臥牛敷舞台



経路案内

